

NEWS 4

学都「仙台・宮城」サイエンスデイ2024(第18回)に参加

日本銅センターは、『学都「仙台・宮城」サイエンスデイ 2024 (第18回)』に、東北大学多元物質科学研究所非鉄金属製錬環境科学共同研究部門、住友金属鉱山株式会社、日本鉱業協会と共に参加した。

出展プログラムは「銅ってすごい！活躍する金属：銅となかまたち」とし、内容は「銅の作り方・ニッケルの作り方」「暮らしのなかにある非鉄金属」「素材の違いを調べよう」「銅の熱の伝わりやすさを体感しよう」の4項目を実施。プログラムには学生さん達も説明員として参加、子供達に「銅」に関する説明を楽しく伝えてくれた。

東北大学打越雅仁准教授のコメント「共同でサイエンスデイ 2024 に出展し、多くのご協力を頂きました。ありがとうございます。銅のスプーンで水を切る体験実験では素材による違いを、また、鉱石から取れる銅がわずかなことから、いかに銅が貴重であるかを実感して頂きました。将来、材料関連の仕事に興味をもってくれることを期待しております。今後ともご協力をお願い致します。」



NEWS 5

経済産業省こどもデーに参加

日本銅センターは、日本伸銅協会、日本鉱業協会と共同で、8月7日～8日に開催された夏休み恒例の「経済産業省こどもデー」に参加した。

日本銅センターでは「銅ってすごい！」と題して、「銅の作り方を学ぼう 資源とリサイクル」「銅と他の金属の違いを調べる」「銅の熱伝導を体感する実験」を実施した。

「銅の作り方を学ぼう」は、銅鉱石から銅製品に見立てた円形の銅板をつくるまでの工程を説明、さらに工程内で発生した「抜き屑」や使用済の銅製品がどのようにリサイクルされるかを学ぶことができるプログラムで、子供達だけではなく、大人も銅に関する理解を深めることができるイベントとなった。



編集後記

本号では、稼働中の洋上風力発電所のルポ、重要文化財の銅板屋根葺替、日本銅センター賞受賞者のご紹介、「銅の日」イベントを含む弊センターの取組をご紹介します。

石狩市の目指すゼロカーボンシティを支える風力発電と海底ケーブル、今後の発展を期待します。

2つの重要文化財指定の銅板屋根改修工事の現場では誌面に書ききれない興味深いお話を聞かせていただきました。

日本銅センター賞受賞案件の取材では、受賞者の方から詳しいご説明をいただき、実績に加え、今後の活動についてもお話をいただきました。

最後に、弊センターが注力しているSTEM教育イベントのひとつ「銅の日」。多くの方々の御協力を得て、たくさんの子供達に銅の魅力を伝えることができました。この場をお借りして御礼申し上げます。

編集デスク 小澤 隆(日本銅センター)

情報発信委員会

〈委員長〉高梨友宏(三菱マテリアル株)
〈委員〉鉱山/和田久行(パンパシフィック・カッパー株)、吉本俊(日本鉱業協会)
伸銅/宇佐見隆行(古河電気工業株)、原田宗和(株神戸製鋼所)、根本優一(一社)日本伸銅協会
電線/齋藤春彦(株フジクラ)、前田かおり(一社)日本電線工業会
〈(一社)日本銅センター〉桑山広司、中山宏明、和田正彦、宮本和法、波多野英明、岩谷恵美子

NEWS 1

日本銅センター 役員を選出

日本銅センターは、理事会において令和6年度の役員を選出した。主な役員は以下の通り。

新任	会長 小野 直樹 三菱マテリアル株式会社 執行役社長	新任	副会長 鬼王 孝志 一般社団法人日本伸銅協会 会長 DOWAメタルテック株式会社 代表取締役社長	新任	副会長 森平 英也 一般社団法人日本電線工業会 会長 古河電気工業株式会社 代表取締役社長
留任	専務理事 桑山 広司 一般社団法人日本伸銅協会 専務理事				

NEWS 2

第51回 日本銅センター賞を選出 / 表彰

日本銅センターは、去る6月5日、ホテル椿山荘東京において第51回日本銅センター賞表彰式を開催した。受賞者は次の通り。

- 株式会社ウチノ板金
- 隈研吾建築都市設計事務所
- 岡庭建設株式会社
- 「和國商店」を建築。循環型建築として外装に使用済銅板を利用したアイデア、内装は真鍮仕上げの建具製作など、銅を使った建築板金のイメージアップに貢献。
- 関西大学 システム理工学部 米津 大吾 様
- 野原グループ株式会社
- タツタ電線株式会社
- PV自家消費施設へのECSO(最適導体サイズ)初導入による銅需要促進への寄与。
- 岸上バルブ株式会社
- 船舶用青銅バルブに銅合金を使用し、銅の需要促進に貢献。



NEWS 3

「第11回メタルジャパン大阪(高機能金属展)」に出展

日本銅センターは、日本伸銅協会と共同で2024年5月17日～19日、インテックス大阪で開催された「11th METAL JAPAN 大阪-高機能金属展-」に出展した。

展示内容は「銅の超抗菌、抗ウイルス性能」「銅のリサイクル」「銅素材・加工品に関する最新情報」の3項目。

また、同時開催された専門技術セミナーでは、株式会社神

戸製鋼所素形材事業部門銅板ユニット銅板工場開発室主任研究員 野村幸矢氏の「半導体を支えるリードフレーム用銅合金の開発事例と今後の展望」と日本銅センター 中山事務局長による「持続可能な社会実現に向けた銅材料の貢献と銅リサイクルの実態」と題した講演が行われた。

